

写真：カピージャ・デ・マルモル

チリから見たパタゴニア

風と氷の大地！

写真：トーレス・デル・パイネ

PATAGONIA(パタゴニア)?

「パタゴニア」と聞いたことがありますか？パタゴニアはアルゼンチンとチリにまたがる（南緯40度線～南極手前まで）南北に長い大自然！美しい森林、湖、河川、氷河が広がる壮大な大地。チリ側パタゴニアに何があるか見てみましょう！

気候

パタゴニアは南北に長いので、気候は「北部」と「南部」に分かれています。「北部」は1年に雨が多く（3,000 mm）、青森が広がっています。「南部」に入ると雨の量は少なくなり、風が強くなります！最大風速が40m/sを超えても珍しくない！

40m/sを超えると踏みとどまることができなくなって、飛ばされることもあるだ〜ぞ！

パタゴニアの動物たち

パタゴニアには様々な動物と出会うことができます！

ピューマ：体長は90～168 cmほど、体重は39～80 kg。ネコ科の中で特に眼球が大きく、視力が高い。



(*)**グアナコ**：ラクダ科ラマ属の哺乳動物。身長は1.6 mほど、体重は48～96 kg。



マゼランペンギン：体長は約70 cm、体重は約3.8 kg。ペンギンの中で中型。



コンドル：翼開長は3.2 m。アンデス山脈に生息します



パタゴニアの先住民たち

「Patagonia（パタゴニア）」の由来
現地に暮らしていた先住民の足跡が大きかったことから「パタゴニア」と名付けられたそうです！（スペイン語で「パタ」は「足」のことです）

先住民は「足が大きい」のではなく、グアナコの皮で作られたブーツで足跡が大きく見えただけです！



ヤーガン族

世界で最も南に位置する民族。カヌーで海を渡る狩猟採集民でした。グアナコ(*)やキツネの皮を使った服を着ることによって、パタゴニアの厳しい寒さを乗り越えることができたそうです！